

国立情報学研究所学術コンテンツサービスプライバシーポリシー

〔令和6年2月16日〕
制 定

このプライバシーポリシー（以下、「本ポリシー」という。）は、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構の一研究所である国立情報学研究所（以下、「研究所」という。）が提供する学術コンテンツサービス（国立情報学研究所学術コンテンツサービス利用規程（以下、「利用規程」という。）第1条に定める各サービスを意味し、以下、「本サービス」という。）における個人情報の取り扱いについて定めるものである。

- 第1章 総則（第1条・第2条）
 - 第2章 利用登録・利用申請における利用者の個人情報（第3条―第6条）
 - 第3章 ログ情報（第7条―第10条）
 - 第4章 Google Analytics の利用（第11条―第15条）
 - 第5章 機関担当者情報（第16条―第19条）
 - 第6章 メタデータ・書誌情報に含まれる個人情報（第20条―第23条）
 - 第7章 安全管理措置（第24条）
 - 第8章 開示等（第25条）
 - 第9章 雑則（第26条―第28条）
- 附則

第1章 総則

（本ポリシーの遵守）

第1条 研究所は、本サービスにおける個人情報を、本ポリシーに従い、適正に取り扱う。

（用語の定義）

第2条 本ポリシーでは、次の各号に定める用語を用いる。

一 利用登録・利用申請

本サービスを利用するための登録や申請。機関認証（IPアドレス認証やShibboleth認証を用いて、本サービスを利用する機関を認証すること）登録、ウェブ API デベロッパー（本サービスが提供するウェブ API を利用する者のこと）登録、IRDB 申請、ERDB-JP パートナー申請等がある。

二 利用者

利用登録・利用申請をして本サービスを利用する者。

三 ログ情報

本サービスの利用者のアクセスログ (URL ごとに、いつ、どこから接続したのかを示す接続履歴)、サーバのメトリクスログ(システムの状態を指標化したデータ。I/O、CPU、メモリ、ディスク、ネットワークの状態等)、イベントログ (システム内で起こった特定の現象・動作の記録)、認証ログ (利用登録・利用申請した者が、いつ、どこからシステムにログインしたかを残すログ)、操作ログ (利用者別に、特定のアプリケーションの操作履歴を残すログ。画面遷移、検索キーワード、文献の閲覧履歴等を含む。) 等の情報。

四 機関担当者

本サービスにおける機関 (大学・研究所・財団法人・株式会社等) の担当者である者。

五 メタデータ・書誌情報

著者名 (共著者名を含む)、所属先、肩書き、図書タイトル、論文タイトル、掲載ジャーナル・資料名、発行年、巻号、頁、発行者、発行国、研究課題名、ファンディングに関する情報、論文・記事等のデジタルオブジェクト識別子、著者の識別子、所属機関の識別子の情報、抄録中の氏名、学位授与大学、取得学位、学位授与番号及び学位授与年月日等の情報で、以下のとおり取得する。

- イ 研究所が運用するデータベースからの提供
- ロ 一般に公表されているデータベースからの提供
- ハ 出版社等との契約による提供
- ニ パートナー機関からの提供

六 利用者等

利用者及び、ログ情報又はメタデータ・書誌情報に含まれる個人情報における本人。

第2章 利用登録・利用申請における利用者の個人情報

(取得する個人情報)

第3条 研究所は、本サービスを通じて、利用登録・利用申請における利用者の個人情報として、氏名、所属先、電話番号、メールアドレスの各情報を取得する。

(利用目的)

第4条 研究所は、利用登録・利用申請における利用者の個人情報を、以下の利用目的及び法令で認められている範囲で利用するものとする。ただし、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除くものとする。

- 一 利用者の利用登録・利用申請に基づく承認等のため。
- 二 利用者への通知・連絡のため。
- 三 利用者に対し本ポリシーの遵守及び履行を求めるため。
- 四 セキュリティインシデント等の対応にあたって、情報を解析し、第三者へ通知連絡を行うため。

(第三者提供)

第5条 研究所は、以下の場合を除き、利用登録・利用申請における利用者の個人情報を第三者に提供することはない。また、以下の場合においても個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合、利用者の情報を第三者に提供することはない。

- 一 利用者の同意がある場合。
- 二 法令で認められている場合。
- 三 学術研究の成果を公表し又は教授する場合。
- 四 研究所と学術共同研究を行う第三者、又は研究所の同意のもと学術研究目的を有する第三者へ提供する必要がある場合。
- 五 セキュリティインシデント等の対応のため第三者に提供する場合。

2 研究所は、本サービスの利用登録・利用申請における利用者の個人情報を含むデータを統計化した形で関係機関に提供、又は公表することができるものとする。

(取得した情報の破棄)

第6条 研究所は、本サービスの利用登録・利用申請における利用者の個人情報を含むデータを、研究所による通常の事業運営に照らして、合理的に不要と判断される時点で破棄する。

第3章 ログ情報

(取得する情報)

第7条 研究所は、本サービスを通じて、ログ情報を取得する。

(利用目的)

第8条 研究所は、ログ情報を、以下の利用目的及び法令で認められている範囲で利用するものとする。ただし、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除くものとする。

- 一 利用者の本サービスの利用状況を把握、解析し、本サービスの内容を向上させるため。
- 二 利用者の本サービスの利用状況や利用結果を把握、解析し、学術研究に利用するため。
- 三 セキュリティインシデント等の対応にあたって、情報を解析し、利用者又は第三者へ連絡を行うため。

(第三者提供)

第9条 研究所は、以下の場合を除き、ログ情報を第三者に提供することはない。また、以下の場合においても個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合、利用者の情報を第三者に提供することはない。

- 一 利用者の同意がある場合。
- 二 法令で認められている場合。

三 学術研究の成果を公表し又は教授する場合。

四 研究所と学術共同研究を行う第三者、又は研究所の同意のもと学術研究目的を有する第三者へ提供する必要がある場合。

五 セキュリティインシデント等の対応のため機関を含む第三者に提供する場合。

2 研究所は、本サービスの利用者のログ情報を含むデータを統計化した形で関係機関に提供、又は公表することができるものとする。

(取得した情報の破棄)

第10条 研究所は、本サービスのログ情報を含むデータを、研究所による通常の事業運営に照らして、合理的に不要と判断される時点で破棄する。

第4章 Google Analytics の利用

(Google Analytics の利用)

第11条 本サービスでは、第12条に定める利用目的のため、Google社が提供するアクセス解析ツール Google Analytics を利用する。Google Analytics はデータ収集のために Cookie 及びデバイスの識別情報を利用するが、Cookie やデバイスの識別情報は匿名で収集され、個人は特定されない。Cookie を無効にすることで収集を拒否可能だが、本サービスの一部が利用できなくなる場合がある。詳細は Google Analytics 利用規約のページ

<https://marketingplatform.google.com/about/analytics/terms/jp/>

及び Google のサービスを使用するサイトやアプリから収集した情報の Google による使用のページ

<https://policies.google.com/technologies/partner-sites?hl=ja>

を参照すること。

(利用目的)

第12条 研究所は、Google Analytics を、以下の利用目的及び法令で認められている範囲で利用するものとする。ただし、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除くものとする。

- 一 利用者の本サービスの利用状況を把握、解析し、本サービスの内容を向上させるため。
- 二 利用者の本サービスの利用状況や利用結果を把握、解析し、学術研究に利用するため。
- 三 利用者の本サービスの利用状況や利用結果を、機関認証登録機関に提供するため。
- 四 セキュリティインシデント等の対応にあたって、情報を解析し、利用者又は第三者へ連絡を行うため。

(第三者提供)

第13条 研究所は、以下の場合を除き、Google Analytics の利用により取得したデータを第

三者に提供することはない。また、以下の場合においても個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合、利用者の情報を第三者に提供することはない。

- 一 利用者の同意がある場合。
- 二 法令で認められている場合。
- 三 学術研究の成果を公表し又は教授する場合。
- 四 研究所と学術共同研究を行う第三者、又は研究所の同意のもと学術研究目的を有する第三者へ提供する必要がある場合。
- 五 セキュリティインシデント等の対応のため機関を含む第三者に提供する場合。
- 六 機関認証登録機関に提供する場合。

2 研究所は、Google Analytics の利用により取得したデータを統計化した形で関係機関に提供、又は公表することができるものとする。

(取得した情報の破棄)

第14条 研究所は、本サービスの Google Analytics の利用により取得したデータを、研究所による通常の事業運営に照らして、合理的に不要と判断される時点で破棄する。

(Google に送信される情報の内容及び利用目的)

第15条 Google に送信される情報の内容及び利用目的は以下のとおりである。

情報の送信先	送信される情報の内容	利用目的
Google LLC 及びその関係会社	<ul style="list-style-type: none">・ インターネット通信に通常用いられるシステム、デバイス、ネットワーク、通信に関する情報・ 位置情報・ サイト・アプリ上での行動に関するデータ・ 閲覧ページに関するデータ・ ユーザー識別子 (cookie、端末識別子等)	利用者による閲覧の傾向や履歴の分析のため

第5章 機関担当者情報

(取得する情報)

第16条 研究所は、本サービスを通じて、機関の担当者の個人情報として氏名、所属先、肩書き、国名、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレスの各情報を取得する。

(利用目的)

第17条 研究所は、機関の担当者の個人情報を、以下の利用目的及び法令で認められている範囲で利用するものとする。ただし、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を

除くものとする。

- 一 本サービスに関して、機関に対して通知、連絡するため
- 二 セキュリティインシデント等の対応にあたって、機関の連絡先を第三者に提供するため

(第三者提供)

第18条 研究所は、以下の場合を除き、機関担当者の個人情報を第三者に提供することはない。また、以下の場合においても個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合、利用者の情報を第三者に提供することはない。

- 一 機関担当者の同意がある場合。
- 二 法令で認められている場合。
- 三 研究所と学術共同研究を行う第三者、又は研究所の同意のもと学術研究目的を有する第三者へ提供する必要がある場合。
- 四 セキュリティインシデント等の対応のため機関を含む第三者に提供する場合。

(取得した情報の破棄)

第19条 研究所は、機関担当者の個人情報を含むデータを、研究所による通常の事業運営に照らして、合理的に不要と判断される時点で破棄する。

第6章 メタデータ・書誌情報に含まれる個人情報

(取得する個人情報)

第20条 研究所は、本サービスを通じて、メタデータ・書誌情報に含まれる個人情報として、著者名(共著者名を含む)、所属先、肩書き、著者の識別子、抄録中の氏名、学位授与大学、取得学位、学位授与番号及び学位授与年月日等の各情報を取得する。

(利用目的)

第21条 研究所は、メタデータ・書誌情報に含まれる個人情報を、以下の利用目的及び法令で認められている範囲で利用するものとする。ただし、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除くものとする。

- 一 利用規程及び本サービスに含まれる各サービスの利用細則・サイトポリシー・ライセンス等に則して、利用者に提供するため。
- 二 本サービスにメタデータ・書誌情報を収録すること及び名寄せ等を行うため。
- 三 本サービスのためのデータ処理技術や、新しい情報技術の探究などの研究・開発における利用(学術研究か否かを問わない。)を行うため。

(第三者提供)

第22条 研究所は、以下の場合について、メタデータ・書誌情報に含まれる個人情報を第三者に提供することがある。また、以下の場合においても個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合、メタデータ・書誌情報に含まれる個人情報を第三者に提供することはない。

一 本サービスのメタデータ・書誌情報を利用者に供し、利用者がメタデータ・書誌情報を閲覧、利用できるようにすることで、メタデータ・書誌情報を第三者に提供する場合。

二 本サービスのメタデータ・書誌情報を、研究所が第三者に利用許諾し又は提供することで、データを提供する場合。なお、研究所の第三者への利用許諾には当該第三者が別の第三者に対して当該データの再利用許諾をすることが可能な利用許諾が含まれる。

2 研究所は、メタデータ・書誌情報に含まれる個人情報を含むデータを統計化した形で関係機関に提供、又は公表することができるものとする。

(取得した情報の破棄)

第23条 研究所は、本サービスのメタデータ・書誌情報に含まれる個人情報を含むデータを、研究所による通常の事業運営に照らして、合理的に不要と判断される時点で破棄する。

第7章 安全管理措置

(適切な管理)

第24条 研究所は、情報・システム研究機構個人情報保護規程に従い、本サービスにおける個人情報を適正に管理し、不正利用及び漏洩等の防止対策を講じるものとする。

第8章 開示等

(開示等)

第25条 研究所は、情報・システム研究機構が定める「情報公開・管理について」に従い、利用者等からの開示等の請求(利用目的の通知、個人情報又は第三者提供記録の開示、訂正・追加・削除、利用の停止・第三者提供の停止の請求をいいます。)に対応する。

第9章 雑則

(問い合わせ窓口)

第26条 本サービスにおける個人情報の問合せの窓口は以下のとおりとする。

国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課

(改訂等)

第27条 研究所は、必要に応じて本ポリシーを改訂することができるものとする。研究所は、改訂に先立ち、改訂後の本ポリシーを本サービスのホームページ上に掲載し又は研究所が相当と判断する方法で利用者に通知するものとする。

(準拠法、裁判管轄等)

第28条 本ポリシーは、日本法に準拠し、同法により解釈、執行される。このポリシーは、日本語で作成されたもののみが効力を有し、他の言語のものは翻訳であり、いかなる法的効力又は影響力も持たないものとする。

2 本ポリシーに関する訴訟については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

附 則

本ポリシーは令和6年3月21日に公開し、同年5月1日から適用する。